

公益財団法人 マツダ財団

2024年度 事業計画書

(2024年4月1日から2025年3月31日)

公益財団法人マツダ財団 2024年度 事業計画及び収支予算 (2024年4月1日から2025年3月31日まで)

マツダ財団は、「つなぐ」をテーマに、社会貢献に取り組む人たちのハブとなる存在感のある財団を目指して、人に寄り添う社会貢献を進めてまいります。既に世の中の活動はコロナ前に戻り、来年度はさらなる拡大が予想されています。

事業費総額は、6,109万円 とします。

I. 科学技術振興関係事業

1. 研究助成 (全国)

<マツダ研究助成>

先進性・独創性に優れた基礎研究および応用研究に対し助成を行う。その際、若手研究者、女性研究者、循環・省資源を優先考慮する。

- | | |
|---------------|------------------------------|
| (1) 助成対象研究分野 | ① 機械 ② 電子・情報 ③ 化学系材料 ④ 物理系材料 |
| (2) 助成金総額・件数 | 3,000万円、30件 |
| (3) 1件当たり助成金額 | 100万円 |
| (4) 助成期間 | 1年または2年 |
| (5) 募集方法・募集期間 | 公募、2024年4月中旬～5月末日 |
| (6) 選考方法 | 選考委員会による審査・選考 |

<マツダ研究助成奨励賞>

マツダ研究助成対象の中から各分野1件、特に優れた研究に対して授与する。

- | | |
|---------------|----------|
| (1) 副賞(追加助成金) | 50万円/件 |
| (2) 助成金総額・件数 | 200万円、4件 |

<フォローアップ取り組み>

- ・贈呈訪問を行う(全30件)
- ・分野別のオンライン交流会を開催する。
- ・「高校生 科学への誘い」講座を開催する。

研究助成で支援している若手研究者に広島県内の高校で科学に関する講演を行っていただき、高校生の科学への興味関心を引き出す。高校生が実行委員会を作り主体的に対応する。(トライアルとして早稲田大学の若手研究者に安田女子高で講演していただく)。

2. 事業助成 (中国5県)

小中高の児童・生徒を対象とした「科学体験」に関する事業・研究会等への助成を行う。新たに高校生の自主活動として、「科学に関する探求」や「科学クラブ」の取り組みも対象とする。

- | | |
|---------------|---------------------|
| (1) 助成金総額・件数 | 200万円 (20～25件 程度) |
| (2) 募集方法・募集期間 | 公募、2024年4月初旬～同年5月中旬 |
| (3) 選考方法 | 選考委員会による審査・選考 |

<フォローアップ取り組み>

- ・視察を行う（特に探求に注目）。
- ・オンライン交流会を開催する。

3. 科学わくわくプロジェクト（広島県）

小中学生や高校生を対象に科学にわくわくする機会を提供し、「科学するところ」を養うことを目指した事業。広島大学名誉教授林先生を委員長とする実行委員会で運用。

(1) 「小学校理科ひろば」

小学校で実験の示範授業を行う

- ・実施場所：要請のある小学校(広島市教育委員会との連携、30校程度)

(2) 「サイエンスレクチャー」

中学生・高校生を対象としたハイレベルな内容の講義

- ・実施場所：要請のある中・高等学校(広島市教育委員会との連携、4~5校)

(3) 「専門家による科学教室」（旧ジュニア科学塾）

公募により集まった中学生・高校生を対象とした科学に関する幅広い内容を発展的、継続的に学習する演習講座。

- ・実施場所：未定

(4) 予算総額：50万円（+繰越金で対応）

<フォローアップ取り組み>

- ・視察を行う。
- ・広報面での支援を行う。
- ・実行委員会を対面で開催し、今後の方向性について議論する。

4. サイエンスサロン（広島県）

研究者が、自らの研究を一般市民に分かりやすく伝える場を設ける。広島大学大学院先進理工系科学研究科との連携。

- ・実施場所：広島県内 年間4件程度

5. 諸経費 540万円

財団員が現場に積極的に出向いて調査・視察するための費用増。

科学技術振興関係事業費 計 3,990万円

Ⅱ. 青少年健全育成関係事業

1. 研究助成 (全国)

「青少年の健全育成」に係る教育現場及び市民活動の活性化に役立つ汎用性の高い研究（基礎的研究を含む）を対象とする。

(1) 助成対象分野

- ・ボランティア育成
- ・若者の居場所づくり
- ・地域連帯・コミュニティづくり
- ・自然とのふれあい
- ・国際交流・協力
- ・科学体験・ものづくり

(2) 助成金総額・件数 **400万円、5件程度**

(3) 助成期間 1年または2年

(4) 募集方法・募集期間 公募、2024年4月中旬～6月中旬

(5) 選考方法 選考委員会による審査・選考

<フォローアップ取り組み>

- ・贈呈訪問を行う
- ・オンライン交流会を開催する。
- ・市民活動団体と合同でオンラインサロンを開催する。
- ・終了時に市民活動支援等と合同で成果報告会を開催する。

2. 市民活動支援 (広島県・山口県)

青少年健全育成のための地域に密着した活動を支援する。

(1) 助成対象分野

- ・ボランティア育成
- ・若者の居場所づくり
- ・地域連帯・コミュニティづくり
- ・自然とのふれあい
- ・国際交流・協力
- ・科学体験・ものづくり

(2) 支援金総額・件数 **800万円、29件**

(3) 1件当たり支援金額 10～50万円

(4) 支援期間 1年

(5) 募集方法・募集期間 公募、2023年10月20日～2024年1月15日

(6) 選考方法 選考委員会による審査・選考

<フォローアップ取り組み>

- ・全団体の活動視察を行う。
- ・行政・中間支援団体を訪問し意見交換を行う。
- ・贈呈式を開催する（広島・山口）。
- ・オンライン交流会を開催する。
- ・研究助成と合同でオンラインサロンを開催する。
- ・オンラインセミナーを開催する。
- ・終了時に研究助成等と合同で成果報告会を開催する。

3. 感動塾・みちくさ (広島県)

子どもたちが自然に触れ、体験や実験などを通じて、科学に対する興味を深め、仲間と協力、創意工夫する機会を通して、協調性、自主性や思いやり、感動する心を育む宿泊型研修。

- | | |
|--------------|--|
| (1) 共同事業 | (公財)広島市文化財団との共催 |
| (2) 対象・人数 | 広島市およびその周辺在住の小学校3年～6年、1か所30人程度 |
| (3) 期間 | 2024年8月 |
| (4) 場所 | (公財)広島市文化財団の青少年活動施設
・広島市青少年野外活動センター
・広島市三滝少年自然の家 |
| (5) 募集方法 | 公募(応募多数の場合は抽選) |
| (6) マツダ財団支援額 | 100万円 |

4. スタートラインプロジェクト (広島県)

NPO法人ピピオ子どもセンターと連携して、被虐待児等の自立を支援する事業として、以下の3プログラムを実施する。ピピオ子どもセンターは十分に自立できたので、本プロジェクトは今年度で終了とする。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| (1) 被虐待児等の成長を支援 | |
| ・自立支援 | カウンセリングの充実 |
| ・就労支援 | 就職活動支援、資格取得支援等 |
| ・高校生への学習支援 | 修学・進学支援等 |
| (2) スタッフの能力開発を支援 | |
| ・講座・セミナー・研究会等への参加 | |
| ・ボランティアスタッフの研修 | 等 |
| (3) 活動基盤の充実 | |
| ・広報活動の充実 | |
| (4) 予算総額 | <u>0万円</u> (繰越金で対応) |

<集大成に向けての取り組み>

- ・広島国際大学の岡本教授にこれまでのスタートラインプロジェクトの取り組みをまとめていただく。

5. 若者×ツナグバ (広島県・山口県)

「社会人になる直前」「社会に出て間がない」若者に対して、「対話」「表現活動」「居場所づくり」等の活動を推進する。そのために、若者が主体となって行う地域への貢献活動を支援し、「若者と地域」また、「若者同士」の繋がりを後押しする事業を展開する。

- | | |
|---------------|---------------------------|
| (1) 支援金総額・件数 | 90万円、3件 |
| (2) 1件当たり支援金額 | 30万円以下 |
| (3) 支援期間 | 1年 |
| (4) 募集方法 | 公募、2023年10月20日～2024年1月15日 |
| (5) 選考方法 | 書面審査とプレゼン審査(2024年2月23日) |

<フォローアップ取り組み>

- ・隔月でオンライン交流会を開催する。
- ・一堂に会して地域の方々と交流する「若ツナフェスタ」を開催する。
- ・オンライン討論会「若ツナサミット」を開催する。
- ・終了時に研究助成・市民活動支援等と合同で成果報告会を開催する。
- ・若手アドバイザー3名（30代、40代で若者支援をしている人）に伴走してもらう。

6. 講演会（広島県）

若者の未来を拓くことを目的とする講演会を開催する。

- | | |
|----------|------------------|
| (1) 開催場所 | 広島国際会議場 |
| (2) 開催時期 | 2024年7月28日（日） |
| (3) 講師 | 吉野 彰様（ノーベル化学賞受賞） |
| (4) 募集方法 | 公募 |
| (5) 予算額 | 204万円 |

7. 大学寄付講義等（広島県）

広島市近郊の大学に対する寄付講義を実施する。

A 「ボランティア活動」

地域の学生が、実際の社会の仕組みを理解し「柔らかい社会（社会の不足部分を人と人との支えあいで補う）」での生活者、社会人としての役割やビジョンについて考えるきっかけとなる講義を目指す。

- | | | |
|------------|--|---------------|
| (1) 対象・方法 | 広島文教大学(単位互換科目「地域と社会」) | 集中講義+ボランティア実習 |
| (2) 実施時期 | 2024年5月～9月 | |
| (3) 本財団の役割 | ① 講義内容の企画・立案
② 講師団の編成、派遣
③ レポートの評価
④ 諸経費の負担 | |

B 「ディベート演習」★新規取り組み

学生が、データに基づいて自分の意見を述べ、また人の意見に傾聴する力を養うことを目的とする。

- | | |
|------------|--|
| (1) 対象 | 広島女学院大学 |
| (2) 実施時期 | 2024年5月～6月 週1回 |
| (3) 本財団の役割 | ① 講義内容の企画・立案
② 講師の派遣
③ 演習内容の評価
④ 諸経費の負担 |

AB 予算総額 10万円

*以上の他、広島大学大学院「コミュニケーション能力開発（ディベート演習）」への講師派遣。

8. 諸経費 **5 1 5 万円**

財団員が現場に積極的に向かい調査・視察するための費用、および青少年育成に関わる人々が集う場の創設費用増。

青少年健全育成関係事業費 計 **2, 1 1 9 万円**

以上